

つながろう人と人・人と自然

第5回市民活き生き健康フェスティバル

健康で安全に安心して暮らせる、うるおいとやすらぎのあるまちを目指し、市制施行5周年記念「第5回市民活き生き健康フェスティバル」が8月7日、登米祝祭劇場で行われました。

会場では「つながろう人と人・人と自然」をテーマに、さまざまなコーナーが設置され、多くの人が訪れました。ステージでは、市の食材や環境をテーマにした「食育力



野菜の旬や栄養を紹介した「食育コーナー」

ルタ大会」や、市や環境に関する「なぞかけ大会」の入選作品の発表、屋外では「エコ・フリーマーケット」などが行われました。



良純さんが「家族愛&自然」について楽しく講演

団員が的確な動作を披露

市消防団演習で700人が成果を披露

登米市消防団演習が7月25日、長沼フットピア公園を会場に開催されました。この演習は、消防団の技術力と士気の向上を目指し毎年開催されていて、今年も市内9支団の代表総勢約700人



指揮者の号令により一糸乱れぬ行進【小隊訓練】



目標に向けて的確に放水【小型ポンプ操法】

が出場し、日ごろの訓練の成果を競い合いました。演習では、9支団対抗で各指揮者の号令によって30人の団員が前後左右に行進する小隊訓練、4人一組で機械を正確に早く操作し63センチ離れた的に放水して消火する、小型ポンプ操法の2種目で時間や動作などが審査されました。

また、米山支団女性団員による小隊訓練の披露や、第46回宮城県消防操法大会に出場する石越支団の壮行式も開催され、見学に訪れた市民から大きな拍手が送られました。審査結果は次のとおりです。

- 総合成績
- 【第1位】 米山支団
- 【第2位】 南方支団
- 【第3位】 登米支団

なぞかけ大会 入選作品

特選 【登米市とかけて】「健康」と解く、その心は「どちらも」「新鮮で美味しい旬の野菜がいっぱい」です

準特選 【登米市とかけて】「ドーナツ」と解く、その心は「どちらも」「縁(ゆかり)が切れません」 櫻井ひとみさん(迫)

入選 【環境とかけて】「真っ白なTシャツ」と解く、その心は「どちらも」「汚さないようにしたい」ものです 三塚ゆかりさん(米山)

【登米市とかけて】「ベートーベンの交響曲」と解く、その心は「どちらも」「田園」が素晴らしいでしょう 須藤賢代子さん(迫)

【登米市とかけて】「未来を担う登米市の子どもたち」と解く、その心は「どちらも」「地産地消」がよろこばれるでしょう 佐藤順子さん(豊里)

楽しみながら親子で工作

もくもく親子工作コンクール市ふるさと絵画展

もくもく親子工作教室が7月17日から8月1日までの土曜と日曜日、津山町もくもくランドで開催され、市内外から多くの親子連れが参加しました。

この教室は、県の県産材利



期間中138組もの親子が、工作にチャレンジしました

用推進PR事業「みやぎの木づかい運動」の一環として、親子で木に親しんでもらおうと、毎年開催されています。教室では、県内産の杉板や丸棒などを使い、親にのこぎりや金づちの使い方を教えられながら思い思いに工夫を凝らした作品を作製し、55点の作品がコンクールに出展されました。

また、ふるさと登米市の大好きな風景や、楽しかった行事などを描いた、第4回ふるさと絵画展も8月6日から16日まで同館で開催され、市内の各小学校から95点の作品が寄せられました。

入賞者は次のとおりです。

【親子工作コンクール】

▼もくもく賞Ⅱ阿部諒子さん(津山町) ▼技術賞Ⅱ佐藤幸さん(津山町) ▼アイデア賞Ⅱ松尾明子さん(豊里町) ▼子さん・恵さん(豊里町) ▼がんばったで賞Ⅱ伊妻壮晃さん(俊英君(迫町))

※市内入賞者のみ掲載

【ふるさと絵画展】

▼もくもく大賞Ⅱ阿部成華さん(横山小) ▼金賞Ⅱ後藤葵さん(南方小) ▼銀賞Ⅱ黒澤依純さん(中津山小) ▼銅賞Ⅱ菊地微香さん(横山小) ※上位入賞者のみ掲載

交流を通し日本の文化を体験

アメリカ・サウスレイク市から訪問団

市と海外姉妹都市になっているアメリカ・テキサス州サウスレイク市から高校生4人と引率者1人が、7月21日から27日までの7日間登米市を訪れました。

訪問団は、22日に市長を表敬訪問。歓迎セレモニーと議場などの施設見学が行われました。

また、26日の夜には、中田農村環境改善センターでポットラックパーティー(料理持ち寄り式)が開催され、ホストファミリーをはじめ多くの関係者が参加し、楽しいひとときを過ごしました。



市役所庁舎での歓迎セレモニーで市長と記念写真



緊張しながらも筆と墨を使い書道を体験



ポットラックパーティーには多くの人が訪れました